

2011年度

科目名	図工科教育法							
担当教員	田中 孝治							
配当	教福3		コード	23073				
開期	後期	講時	火曜日3限	単位数 2				
授業テーマ	小学校における図画工作科の教育法を修得する							
目的と概要	「子どもの造形」がもつ特性を、発達の過程や表現などを通して明らかにし、造形することの意義や図画工作科の本質、教育の目標を考察する。さらに、図画工作科学習指導案の作成演習や実技実習を通して、子どもの造形表現に必要な基礎的・基本的なことがらについて、その取り扱いを修得する。また、図画工作科授業を通して一人一人の子どもの表現能力を高め、その育ちをどのように伸長させるのか、学習方法について研究を進める。							
成績評価法	・平常の学習の様子、授業時の発言(20%)・提出レポート(含・学習指導案)(30%)・模擬授業(20%)・期末テスト(30%)などによって総合的に評価する。							
テキスト	使用しない							
参考書	小学校学習指導要領 解説・図画工作編 文部科学省(日本文教出版)							
履修に当たっての注意・助言 /準備学習	講義内容について、予習して臨むこと。							
講義計画								
第1回 図画工作教育法研究の意義、美術教育の流れ								
第2回 学習指導要領と図画工作教育の目標								
第3回 内容構成及び学年別目標								
第4回 造形遊びの内容と指導例								
第5回 絵や立体に表す内容とその指導例								
第6回 工作に表す内容とその指導例								
第7回 材料用具の種類とその取り扱い方								
第8回 鑑賞活動の重要性とその方法								
第9回 題材設定のあり方と授業の進め方								
第10回 図画工作科授業の計画立案								
第11回 計画をもとにした学習指導案の作成①（試案）								
第12回 計画をもとにした学習指導案の作成②（完成）								
第13回 自作の指導案をもとにした模擬授業と研究協議①								
第14回 自作の指導案をもとにした模擬授業と研究協議②								
第15回 学習のまとめ—これからの教科教育								